

PREMIER VOLLEYBALL LEAGUE の試合結果 (2023 年 7 月 22 日～31 日)

バレーボールの発展と普及。世界のレベルの高いバレーボールに触れることで、チームと個人の成長を促し、各国の選手と交流することで、文化的な学びや世界を見据えたコミュニケーション力を得ることを目的とし、フィリピンの PREMIER VOLLEYBALL LEAGUE に参戦いたしました。

7 月 22 日 (土) vs KINH BAC-BAC NINH(ベトナム代表)

① 23-25 ② 25-14 ③ 25-20 ④ 25-11

初戦を前に地元トップチームの試合を観戦し、観客の多さや声援に圧倒され 1 セット目の入りは硬さが目立ちましたが、#15 田丸が 28 本の攻撃ポイントを決めて 29 得点をマーク。#10 矢野も試合を決定づけるプレーで 17 点、#2 谷口と #23 滝尾がそれぞれ 10 点を記録し、効果的なスパイクとスピードのある攻撃で相手を圧倒しセットカウント 3 対 1 で勝利しました。

#15 田丸が 29 得点をマークし、PLAYER OF THE GAME を獲得しました。



【動画】

<https://youtu.be/67MYTVS-7wA>

<https://youtu.be/ZzZC6VN8dsU>

<https://youtu.be/Y7snfyOKg7>

<https://youtu.be/B7UsgFHRU0U>

7 月 24 日 (月) vs SIGNAL HD SPIKERS

① 25-23 ② 25-16 ③ 25-23

初海外遠征にして公式試合を勝利して迎えた 2 戦目、身長の高い相手に対してチーム全員で何度もボールを拾って繋げ最後は両サイドのアタッカーが得点を重ねました。相手はなかなか得点が決まらず、ミスを重ねセットカウント 3 対 0 で勝利し、2 連勝となりました。

#3 大島が 22 本のエクセレントセット (トス) とツー攻撃などを決め PLAYER OF THE GAME を獲得しました。



【動画】

<https://youtu.be/fkU9JYnds40>

7月25日（火） vs F2 Logistics Cargo Movers

① 25-20 ② 25-22 ③ 25-20

第3戦目はファイナル進出に向けて大事な1戦となったが、#15 田丸の力強いスパイクと#11 平岡のトランジションプレーで得点を重ねた。この日も#9 高橋をはじめとする見事なフロアディフェンスで、すべてのセット接戦でものにし初戦のベトナム戦以降セットを落とさず、セットカウント3対0で勝利し、3連勝となりました。#11 平岡がサービスエースを含む17得点をマークし、PLAYER OF THE GAMEを獲得しました。



【動画】

<https://youtu.be/OYFiVEXPg2s>

7月27日（木） vs PLDT Home Fibr Hitters

① 25-15 ② 23-25 ③ 25-14 ④ 25-23

第4戦目は今までの相手とは違い、速い攻撃を得意とするチームとの対戦となりました。また相手チームも倉敷アブレイズを研究し、対策してくる中で今までの攻撃だけではなく、バックアタックなどを織り交ぜて得点を重ねました。#15 田丸の攻撃を軸に#16 田部が15得点、#11 平岡と#10 矢野がそれぞれ11得点とPLDTの57得点に対して69得点を攻撃でたたき出し、セットカウント3対1で勝利し4連勝となりました。

#3 大島が19本のエクセレントセット（トス）と7得点をマークし、PLAYER OF THE GAME を獲得しました。



【動画】

<https://youtu.be/2hY5Q0leMgk>

<https://youtu.be/b2ANXF-i2Hc>

7月28日（金） vs CREAMLINE COOL SMASHERS

① 25-20 ② 25-21 ③ 18-25 ④ 25-14

第5戦目は前回覇者と無敗同士の戦いとなりました。両チームともファイナルラウンド進出がすでに確定し負けてもいい試合でしたが、監督の鈴木は主力選手にこだわり決勝に向けて調整することはせず正面から勝負を挑みました。1・2セットを取り、3セット目を相手にとられましたが、4セット目から#16 田部が攻撃のリズムを取り戻し同点に追いつきました。その後は粘りのディフェンスで相手のミスを誘い#16 田部がキルブロック、#13 河村のサービスエースで試合を優位に進め、セットカウント3対1でリーグ戦を全勝で終わりました。

#9 高橋がエクセレントディグ16本とエクセレントセプション5本をマークし、PLAYER OF THE GAME を獲得しました。



【動画】

<https://youtu.be/MN5kKmYH7F4>

【 FINAL 】

7月30日(日) vs CREAMLINE COOL SMASHERS

① 19-25 ② 25-23 ③ 25-19 ④ 20-25 ⑤ 15-13

決勝の相手は前回覇者の CREAMLINE COOL SMASHERS との戦いとなりました。試合開始早々、会場が揺れるかのような歓声が起こり、チームメイトの声も届かないような環境で1セット目は相手のペースにのまれ、ミスもありセットを落とします。落ち着きを取り戻して挑んだ2セット目以降は相手チームのサーブターゲットを変更し、徐々にプレッシャーをかけ攻撃を限定させていくことに成功しました。#13 河村の連続ブロックでラリー中相手チームも苦しくなりさらにプレッシャーを与えることができました。#16 田部のストレートスパイクが決まり、マッチポイントを迎え#15 田丸のサーブがアウトに見えましたが、ベースラインで落ち“優勝”を決めました。

#9 高橋の一本目から#3 大島がアタッカー陣を操り、#15 田丸を29得点のトップに輝かせた。準決勝で23得点をマークしたセッター#3 大島が19本の素晴らしいセットパフォーマンスでファイナル MVP トロフィーを獲得した。

また外国人選手で唯一#15 田丸がベストアウトサイドスパイカーに選ばれました。

今大会を通じてフィリピン国内でのバレーボールの人気の高さや温かい国民性、リーグ主催者の取り組みや盛り上げ方、演出、観客との距離感など色々なことを感じることができました。

いつも応援してくださる皆様、大会参加にあたり支援・サポートしてくださるパートナー企業様、長期間にわたり快く送り出してくださった出向先の皆様、本当にありがとうございました。

これからも引き続き、倉敷アブレイズへのご声援よろしくお願い致します。



【動画】

https://youtu.be/lQJi2L7w_fs

【倉敷アブレイズと一緒にバレーボールを一緒にしよう！！】

PVLの大会に参加させていただいたお礼で何か地元の子どもたちに何かできないかと思い、フィリピンマニラ市北方に位置する貧困地区を訪問させていただきました。倉敷アブレイズの選手と子どもたちが一緒にバレーボールを楽しみ、最後にプレゼントを渡しました。フィリピンのトレンドおもちゃ「ラトラト」を披露してもらい、選手たちもやり方をレクチャーしてもらうなどして楽しい時間を共有しました。

